

現代の国語

教 科	国語	単位数	2	学科・学年	全科1年
使用教科書	新編 現代の国語（大修館書店）				
副教材等	五訂版 常用漢字オールクリア（尚文出版）				

「現代の国語」の到達目標は

- (1) 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。
- (2) 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する力、「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、文体や語句などの表現のしかたを工夫する力、「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりする力を養う。
- (3) 文章を読んで筆者の主張を読み取ることに意欲的に取り組む態度、自分の考えを相手が理解できるよう、分かりやすく効果的な文章を書こうとする態度、対話をすることに興味をもち、相手や場面を意識しながら対話に取り組もうとする態度を養う。

1. 評価の観点の趣旨と方法

	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解する。 話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する力を身につけている。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、文体や語句などの表現のしかたを工夫する力を身につけている。 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりする力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで筆者の主張を読み取ることに意欲的に取り組もうとしている。 自分の考えを相手が理解できるよう、分かりやすく効果的な文章を書こうとしている。 対話をすることに興味をもち、相手や場面を意識しながら対話に取り組もうとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 年5回の定期考査 長期休業中に出題される課題および休業あけの宿題テスト 漢字の小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 年5回の定期考査 長期休業中に出題される課題および休業あけの宿題テスト グループ討論 全体発表 ワークシートの記述内容 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内での取り組み状況 ワークシートの記述内容 課題等の提出状況

2. 評価の規準（及び年間の評定）

内容のまとめり(単元)	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 ことばをひらく 『「変わる」ことを 楽しもう』	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読んだり書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張をふまえて、今の時代をどのように生きていくか、高校生活で何に取り組むかなどについて、自分の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで筆者の主張を読み取ることに意欲的に取り組んでいる。
3 わかりやすく説明する 『ナンバーワンか、 オンリーワンか』 『生きることと 食べることの意味』	<ul style="list-style-type: none"> 表現に注目し、それぞれの働きや効果について理解し、説明することができる。 表現に注目し、それぞれの働きや効果について理解し、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張をふまえて、問題提起の答えとナンバーワンしか生きられない自然界に、多くの生物が存在している理由について、自分の言葉でまとめることができる。 筆者の問題提起とそれに対する答えを自分の言葉でまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明的な文章を読むことに興味をもち、順序や接続表現、問題提起と答えに注意して読もうとしている。 説明的な文章を読むことに興味をもち、順序や接続表現、問題提起と答えに注意して読もうとしている。
5 論理を読み取る 『商品と贈り物の違い』 『水の東西』	<ul style="list-style-type: none"> 主張と根拠、具体と抽象、対比に着目し、論理展開をとらえることができる。 主張と根拠、具体と抽象、対比に着目し、論理展開をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張をふまえて、日常生活の中にある「経済／非経済」について話し合うことができる。 筆者の主張をふまえて、「鹿おどし」は日本人が水を鑑賞する行為の極致を表す仕掛けだと言える理由を自分の言葉でまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いに興味をもち、よりよい話し合いになるように意識しながら、積極的に話し合いに参加している。 論理的な文章を的確に読み取ることに関心をもち、論理展開をとらえようとしている。
読書の広場 『ももこの いきもの図鑑』 本の POP を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読んだり書いたりしている。 POP の役割や入れる要素を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者のアリに対する関心のもち方、アリの描き方のおもしろさについて話し合うことができる。 読者を引きつける紹介文を書くために本の情報を整理し、表現方法を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いに興味をもち、よりよい話し合いになるように意識しながら、積極的に話し合いに参加している。 さまざまな分野の本に興味をもち、自分の知らない世界に飛び込もうとしている。

8 情報と向き合う 『情報の力関係』	<ul style="list-style-type: none"> 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を吟味しながら読むことに興味をもち、文章や図表から必要な情報を読み取るうとしている。
9 他者を動かす プレゼンテーションをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ビブリオバトルのルールを理解している。 文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手の心を動かせるよう、情報の分量や重要度を考え、発表資料の構成や展開を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションをすることに興味をもち、聞き手の心を動かすために構成や発表のしかたを工夫しようとしている。
10 社会に目を向けて 『何のために「働く」のか』	<ul style="list-style-type: none"> 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を的確に読み取り、「働く」ことについて自分の考えをまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を読み取ることに積極的に取り組み、それに対する自分の考えを深めようとしている。
1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、思考・判断・表現を重視し総合的に判断して決定します。			

3. 学習の計画と評価の観点

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点			審査範囲
				知・技	思・判・表	主	
1 学期	4	1 ことばをひらく 『「変わる」ことを 楽しもう』	筆者の考えを読み取り、変化の激しい今の時代を生きていくために必要なことや高校生活で取り組むべきことについて、自分の考えを深める。	○	○	○	中間 審査
	5	3 わかりやすく説明する 『ナンバーワンか、 オンリーワンか』	説明のしかたに注意して文章を読む。 問題提起に対する自分の考えを深め、まとめる。	○	○		
	6	3 わかりやすく説明する 『生きることと 食べることの意味』	順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して文章の構成をつかむ。 問題提起に対する自分の考えを深め、まとめる。		○	○	期末 審査
		5 論理を読み取る 『商品と贈り物の違い』	主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえる。 日常生活の中にある「経済／非経済」について話し合い、考えを深める。		○	○	
	7	読書の広場 本のPOPを作ろう	POPの役割を理解する。 自分で本を選び、読み切る。 本の情報を整理する。	○		○	
8	読書の広場 本のPOPを作ろう	POPに必要な情報を整理し、伝えたいことを明確にする。 POPの表現の工夫を知り、効果的な紹介文を書く。		○	○		

2 学 期	9	読書の広場 『ももこの いきもの図鑑』	筆者のいきものに対する関心のもち方、描き方のおもしろさについて話し合う。 よりよい話し合いになるよう、表現や進行など話し合いのしかたや結論の出し方を工夫する。		○	○	中 間 考 査
	10	5 論理を読み取る 『水の東西』	主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえる。 論理的な文章の要旨を的確に読み取る。	○	○	期 末 考 査	
	11	8 情報と向き合う 『情報の力関係』	視点や根拠に注意し、情報を吟味しながら読む。 図表などから必要な情報を読み取る。	○	○		○
	12	9 プレゼンテーションを しよう ビブリオバトル	よりよいプレゼンテーションについて考える。 ビブリオバトルのルールを理解する。	○			○
3 学 期	1	9 プレゼンテーションを しよう ビブリオバトル	聞き手の心を動かし、目的を達成するために構成や発表のしかたを工夫する。 本文の表現や情報を活用しながら発表する。		○	○	学 年 末 考 査
	2 3	10 社会に目を向けて 『何のために 「働く」のか』	本文の修辞や表現の方法について理解する。 筆者の主張を的確に読み取り、それに対する自分の意見を持ち、社会で生きていくことについて考えを深める。	○	○	○	

言語文化

教 科	国語	単位数	2	学科・学年	全科1年
使用教科書	新編 言語文化（大修館書店）				
副教材等	常用漢字オールクリア（尚文出版）				

「 言語文化 」の到達目標は

- (1) 思考するための道具として必要不可欠である語彙を豊かにし、その語彙を正しく使って適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。同時に常用漢字の習得を目指す。
- (2) 文章の内容や構成、展開などを的確に捉え、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。そして言語感覚を磨き、我が国の言語文化について自分の考えを持ち、進んで表現することができる。
- (3) 国語の向上やそのことによって社会生活の充実を図る態度を育てる。つまり、文章を読んで筆者の主張を読み取ることに意欲的に取り組む態度、自分の考えを相手が理解できるようわかりやすく効果的な文章を書こうとする態度、対話をすることに興味を持ち相手や場面を意識しながら対話に取り組もうとする態度を養う。

1. 評価の観点の趣旨と方法

	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> • 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 • 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中で使っている。 • 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 • 我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 • 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 • 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 • 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味を持ち、作品の構造を理解しようとしている。 • 古文を読むことに興味を持ち、積極的に読みに慣れようとしている。そして、登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。 • 漢文に興味を持ち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、内容の理解を深めようとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> • 年5回の定期考査 • 漢字の小テスト • 長期休業明けの宿題テスト • 長期休業中に出される課題 	<ul style="list-style-type: none"> • 年5回の定期考査 • 長期休業明けの宿題テスト • 長期休業中に出される課題 • ワークシートの記述内容 • 授業中の発言 	<ul style="list-style-type: none"> • 長期休業中に出される課題 • 授業への取り組み状況 • ワークシートの記述内容 • 課題等の提出状況

2. 評価の規準（及び年間の評定）

内容のまとめ(単元)	知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現1 表現を味わう 『とんかつ』	<ul style="list-style-type: none"> 文章の意味は、文章の中で形成されることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味を持ち、作品の構造を理解しようとしている。
古1 古文に親しむ 『児のそら寝』	<ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> 古文を読むことに興味を持ち、積極的に読みに慣れようとしている。そして、登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。
現6 近代文学に触れる 『形』	<ul style="list-style-type: none"> 文章の意味は、文章の中で形成されることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に興味を持ち、場面や登場人物の設定を捉えて小説を味わおうとしている。
漢1 漢文に親しむ 『訓読のきまり』 『格言』	<ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢文に興味を持ち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、内容の理解を深めようとしている。
* 詩歌の調べ 『春のうた/ 夏のうた/ 秋のうた/ 冬のうた』	<ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> 四季の詩歌を読むことに興味を持ち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。
現4 物語を受け継ぐ 『羅生門』	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動を通して、内容の解釈を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に興味を持ち、小説の構成や登場人物の心情の変化を捉えようとしている。
古2 随筆を楽しむ 『徒然草・ 高名の木登り』	<ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 随筆文学に興味を持ち、作者のものの見方や感じ方を読み取ろうとしている。
漢2 現代に生きることば 『五十歩百歩』	<ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢文に興味を持ち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。

現5 ことばと生きる 『祖母が笑う ということ』	<ul style="list-style-type: none"> 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に興味を持ち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしようとしている。
1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、思考・判断・表現を重視し総合的に判断して決定します。			

3. 学習の計画と評価の観点

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点			考查範囲
				知・技	思・判・表	主	
1学期	4 5	現1 表現を味わう 『とんかつ』	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の描写から人物像を捉え、場面ごとの心情を読み取る。 語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。 	○	○	○	中間 考查
	5 6	古1 古文に親しむ 『児のそら寝』	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。 	○	○	○	期末 考查
	6	現6 近代文学に触れる 『形』	<ul style="list-style-type: none"> 場面や登場人物の設定を的確に捉え小説を味わう。 元になった古典作品との比較を踏まえて、内容の解釈を深める。 	○	○	○	
	7	漢1 漢文に親しむ 『訓読のきまり/格言』	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の訓読のきまりについて理解する。 	○	○	○	中間 考查
2学期	8 9	* 詩歌の調べ 『春のうた/夏のうた 秋のうた/冬のうた』	<ul style="list-style-type: none"> 作品に描かれている情景や心情を読み取る。 詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。 	○	○	○	中間 考查
	10	現4 物語を受け継ぐ 『羅生門』	<ul style="list-style-type: none"> 小説の構成を捉え、登場人物の心情の変化を読み取る。 元になった古典作品との比較を踏まえて、内容の解釈を深める。 	○	○	○	期末 考查
	11	古2 随筆を楽しむ 『徒然草/ 高名の木登り』	<ul style="list-style-type: none"> 音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 作者のものの見方や感じ方について、自分の考えを持つ。 	○	○	○	
	12	漢2 現代に生きることば 『五十歩百歩』	<ul style="list-style-type: none"> 「五十歩百歩」という言葉の意味について、考えを深める。 この話で語られている教訓の意義を理解する。 	○	○	○	学年 末 考查
3学期	1 2 3	現5 ことばと生きる 『祖母が笑う ということ』	<ul style="list-style-type: none"> 叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わう。 	○	○	○	

公共

教 科	公民	単位数	2	学科・学年	1年全科
使用教科書	高等学校 公共 これからの社会について考える(数研出版)				
副教材等	ライブ! 公共 2024(帝国書院)				

「 公共 」の到達目標は

- (1) 現代の諸課題を捉え多角的に考察し、選択・判断するための概念とともに、諸資料から、主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断となる考え方や公共領域における基本的原理を活用して、科学的思考や事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論・提案する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野に、人権と環境を中心とした現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民の一人として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

1. 評価の観点の趣旨と方法

	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> • 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共領域における基本的原理を活用して、科学的思考や事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり提案したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、人権や環境など現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 • 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた前向きな取り組みを行おうとしている。また取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> • 年5回の定期考査 • レポート • 授業プリント 	<ul style="list-style-type: none"> • 年5回の定期考査 • レポート • 課題プリント • 成果物 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業プリントの提出状況とその内容 • グループ学習における発表内容と合意形成への意欲 • レポートの提出状況とその内容 • 課題プリントの提出状況とその内容 • 自己評価表による振り返り

2. 評価の規準（及び年間の評定）

内容のまとめ(単元)	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
巻頭 公共的な空間をつくる 私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 ・ 自分たちが生きる社会が、様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己形成の課題について考察できている。 ・ 自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり、様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりとすることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。 ・ 自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとることができている。
第1章 公共的な空間における 人間としての在り方 生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 ・ 地球環境問題、資源やエネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 ・ 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の考察できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとることができている。 ・ 選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得、現代の諸課題を主体的に追究できている。
第2章 公共的な空間における 基本的原理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 ・ 日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。 ・ 日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。 ・ 日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができている。
第3章 ルールを作り守る私 たち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法や規範の意義や役割が理解できている。 ・ 公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。 ・ 裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。
第4章 政治に参加する私 たち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。 ・ 日々報道される世界の国

	<p>できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 ・国際連盟の組織と役割が理解できている。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 ・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。 ・核軍拡から核軍縮への流れが理解できている。 ・現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が理想とする選挙制度を選択することができる。 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。 ・国連の現状と課題について考察できている。 ・NGOもしくはJICA青年海外協力隊と接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について判断できている。 ・国際問題について根拠に基づいた自分なりの意見を持ち、他者に説明できている。 	<p>際紛争に関心が持てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示できている。 ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持っている。 ・NGOもしくはJICA青年海外協力隊と接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について主体的に追究できている。
<p>第5章 経済活動を行う私たち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の企業の果たしている役割が理解できている。 ・中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できている。 ・産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解できている。 ・市場経済のメカニズムが理解できている。 ・各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができている。 ・金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・政府が経済に果たしている役割を理解できている。 ・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・社会保障について理 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の企業倫理について考察できている。 ・経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できている。 ・需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できている。 ・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断できている。 ・自身の老後生活を予想し、租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランスを考察できている。 ・経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し、それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先端技術が発展するなかで、自分の進路や職業選択を考えることができている。 ・経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。 ・商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し、合理的な消費行動がとれている。 ・今後の経済設計がきちんとたてられている。 ・日本の経済について課題を発見し、解決する見通しが持てている。 ・自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できている。 ・格差のある国際社会で、その克服のために自らがどのようなことができるか考え、実行しようという意欲を持つことができている。

	<p>解できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 貿易や外国為替相場について、そのしくみが理解できている。 • 戦後の国際経済の流れが理解できている。 • 発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの原因や課題を理解できている。 		
<p>課題探究編 持続可能な社会づくり の主体となる私たち</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 現代社会に生きる私たちの課題を指摘できている。 • 現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などが理解できている。 • 現代社会の諸問題について、SDGsとの関連を図ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができている。 • 現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し、その内容をレポートや口頭発表などによつて的確に表現できている。 	<ul style="list-style-type: none"> • さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究できている。 • それぞれが選択した課題について、今後も継続して探究しようという意欲を持つことができている。 • 現代社会の特質から生じる価値の対立について、主体的に探究できている。
<p>年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通して、3観点をバランスよく判断して決定します。</p>			

3. 学習の計画と評価の観点

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価の観点			考査範囲
				知・技	思・判・表	主	
1 学 期	4	巻頭 公共的な空間を作る 私たち 特集1 大人ってどんな人？ 特集2 お互いを尊重するために 特集3 誰もが生きやすい社会へ	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解します。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを理解します。 ・伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解します。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解します。 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現します。 	○	○	○	1 学 期 中 間 考 査
	5	第1章 公共的な空間における人間としてのあり方 1節 西洋近現代の思想 1 科学的・合理的な考え方 2 民主社会の倫理 3 他者とともに生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けます。 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現します。・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解します。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解します。 	○	○	○	

6	第2節 現代の諸課題と倫理 1 地球環境をめぐる問題 2 資源・エネルギーをめぐる問題 3 生命をめぐる問題 4 情報をめぐる問題	<ul style="list-style-type: none"> 様々な課題に対して、各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解します。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 	○	○	○	1学期期末考査
	第2章 公共的な空間における基本原理 第1節 民主社会の基本原理 1 民主政治の基本的人権 2 権力分立と法の支配 3 個人と社会のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解します。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解します。 公共的な空間における基本原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現します。 	○	○	○	
	第2節 日本社会の基本原理 1 日本国憲法と基本原理 2 平等権 自由権 3 社会権 参政権 請求権 4 人権の広がり 5 国会のしくみと役割 6 内閣のしくみと行政機構	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立過程とその理念を理解し、基本的人権について、公共の福祉との兼ね合いを考察します。 人権保障が世界でどのように広がってきたのか理解します 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 国会・内閣の機能と役割や関係性について理解します。 日本の政治機構と政治参加について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論します。 	○	○	○	
2 7 学期	第3章 ルールをつくり守る私たち 第1節 法と契約 1 法・規範の意義と役割 2 経済社会とルール 3 契約と消費者の権利	<ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割について理解します。 多様な契約及び消費者の権利と責任などに関わる現実社会の事柄や課題について理解します。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 	○	○	○	2学期中間考査
	第2節 司法参加の意義 1 司法権と日本の裁判制度 2 司法参加の意義	<ul style="list-style-type: none"> 裁判所の機能と役割、人権を保障するためのしくみについて理解します。 司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題について理解します。 	○	○	○	

8・9	<p>第4章 政治に参加する私たち</p> <p>第1節 政治参加と民主政治の課題</p> <p>1 選挙の役割と意義</p> <p>2 政党の役割</p> <p>3 地方自治の現状と課題</p> <p>4 世論の形成と政治参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治、政治参加と公正な世論の形成などに関わる現実社会の事柄や課題について理解します。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 日本の政治機構と政治参加について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論します。 	○	○	○	
10	<p>第2節 国際政治の動向</p> <p>1 国際社会と国際法</p> <p>2 戦後の国際情勢</p> <p>3 現代の紛争</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国家主権、領土などに関わる現実社会の事柄や課題について理解します。 第二次世界大戦後の国際社会の動向、冷戦終結後の国際社会の変容について理解します。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 国際政治に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論します。 	○	○	○	
11	<p>第3節 国際政治の課題と日本の役割</p> <p>1 日本の安全保障</p> <p>2 日本の防衛体制</p> <p>3 軍縮への動き</p> <p>4 国際連合の組織と課題</p> <p>5 世界の人権問題と日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題について理解します。 核兵器の廃絶などの軍縮、国際平和に向けた世界の取り組みについて理解します。 国際連合の役割と課題について理解します。 人種・民族・難民問題などに関わる現実社会の事柄や課題について理解します。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 国際政治に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論します。 	○	○	○	2学期末考査
12	<p>第5章 経済活動を行う私たち</p> <p>第1節 経済のしくみと産業の変化</p> <p>1 経済のしくみ</p> <p>2 企業の働きと役割</p> <p>3 日本を支える中小企業と農業</p> <p>4 産業構造の変化と職業</p> <p>5 労働者の権利</p> <p>6 現代の労働問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動と経済主体、市場経済の機能と限界について理解します。 現代の企業の在り方と課題を理解します。 中小企業、農業問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解します。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 労働問題に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、提案したことを議論します。 	○	○	○	学年末考査

3 学 期	1	<p>第2節 市場経済のしくみと金融</p> <p>1 市場経済のしくみと物価</p> <p>2 国民所得と経済成長</p> <p>3 金融の役割と金融政策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国民経済全体をはかる国民所得などの指標、景気変動と物価の動きについて理解します。 ・金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を理解します。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 	○	○	○
		<p>第3節 財政と社会保障</p> <p>1 財政と租税の役割</p> <p>2 公害対策と環境保全</p> <p>3 少子高齢化社会における社会保障</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財政及び租税の役割、に関わる現実社会の事柄や課題を理解します。 ・公害の防止と環境保全、エネルギーと循環型社会などに関わる現実社会の事柄や課題を理解します。 ・社会保障に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論します。 	○	○	○
	2・3	<p>第4節 国際経済の動向と課題</p> <p>1 国際経済のしくみ</p> <p>2 戦後の国際経済体制</p> <p>3 グローバル化と現代の国際経済</p> <p>4 地域経済統合</p> <p>5 南北問題とその課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易と国際分業、外国為替のしくみと国際収支について理解します。 ・戦後国際経済の枠組みとその変化について理解します。 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解します。 ・EU や USMCA などの地域統合の進展などに関わる現実社会の事柄や課題を理解します。 ・南北問題や新興市場国などの国家間格差などに関わる現実社会の事柄や課題を理解します。 ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を理解します。 	○	○	○
		<p>課題探究編</p> <p>持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述します。 	○	○	○

数学Ⅰ

教 科	数学	単位数	3	学科・学年	全科1年
使用教科書	新編 数学Ⅰ（数研出版）				
副教材等	3TRIAL 数学Ⅰ（数研出版）				

「 数学Ⅰ 」の到達目標は

- (1) 数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

1. 評価の観点の趣旨と方法

	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年5回の定期考査 ・長期休業あけの宿題テスト ・単元テスト ・小テスト ・課題の出来栄 	<ul style="list-style-type: none"> ・年5回の定期考査 ・長期休業あけの宿題テスト ・単元テスト ・課題の出来栄 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノートのまとめかた ・授業の取り組み状況 ・課題の取り組み状況

2. 評価の規準（及び年間の評定）

内容のまとめり(単元)	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 数と式	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式や多項式，同類項，次数など式に関する用語を理解している。 ・同類項をまとめたり，ある文字に着目して降べきの順に整理したりすることができる。 ・多項式の加法，減法の計算ができる。 ・指数法則を理解し，多項式の乗法の計算ができる。 ・展開の公式を利用できる。 ・因数分解の公式を利用できる。 ・分数を循環小数で表すことができる。 ・絶対値の意味と記号表示を理解している。 ・平方根の意味，性質を理解している。 ・根号を含む式の加法，減法，乗法の計算ができる。また，分母の有理化ができる。 ・不等号の意味を理解し，数量の大小関係を式で表すことができる。 ・不等式の性質を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・式の展開は分配法則を用いると必ずできることを理解している。 ・式を1つの文字におき換えることによって，式の計算を簡略化することができる。 ・複雑な式についても，項を組み合わせる，降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで，因数分解をすることができる。 ・因数分解を行うのに，文字のおき換えを利用することができる。 ・四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。 ・実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また，実数の大小関係と数直線とを関係づけて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式，多項式とその整理の仕方に関心を持ち，考察しようとする。 ・多項式の乗法には，数の場合と同様に分配法則が使えることに興味を持ち，考察しようとする。 ・式の変形，整理などの工夫において，よりよい方法を考察しようとする。 ・今まで学習してきた数の体系について整理し，考察しようとする。 ・対称式の値の求め方に興味を示し，自ら考察しようとする。 ・循環小数が分数で表現できることに興味を持ち，考察しようとする。
2章 集合と論証	<ul style="list-style-type: none"> ・集合とその表し方を理解している。また，2つの集合の関係を，記号を用いて表すことができる。 ・空集合，共通部分，和集合，補集合について理解している。 ・ド・モルガンの法則を理解している。 ・命題の真偽，反例の意味を理解し，集合の包含関係や反例を調べることで，命題の真偽を決定することができる。 ・必要条件，十分条件，必要十分条件，同値の定義を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベン図などを用いて，集合を視覚的に表現して考察することができる。 ・命題の真偽を，集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 ・命題の条件や結論に着目し，命題に依じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集合について，それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。 ・条件を満たすものの集合の包含関係が，命題の真偽に関連していることに着目し，命題について調べようとする態度がある。 ・直接証明法では難しい命題も，対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心を持ち，実際に証明しようとする。

	<ul style="list-style-type: none"> 命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解し、それらの真偽を調べることができる。 		
3章 2次関数	<ul style="list-style-type: none"> $y = ax^2$, $y = ax^2 + q$, $y = a(x - p)^2$, $y = a(x - p)^2 + q$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 $ax^2 + bx + c$ を $a(x - p)^2 + q$ の形に変形できる。 2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解している。 判別式 $D = b^2 - 4ac$ の符号と実数解の個数の関係を理解している。 2次不等式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。 2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ について、頂点、軸の式を考察しようとする。 放物線の平行移動や対称移動の一般公式を考察しようとする。 2次関数の決定条件に興味、関心をもち、考察しようとする。 2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。
4章 図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> 直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。 三角比の定義から、辺の長さを求める関係式を考察することができる。 直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 三角比の値から θ を求めることができる。また、1つの三角比の値からの残りの値を求めることができる。 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。 余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。 余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。 三角比を用いた三角形の面積を求める公式を 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 正弦定理を測量に応用できる。 余弦定理を測量に応用できる。 三角形の面積を、決定条件である2辺とその間の角または3辺から求めることができる。 空間図形への応用において、適当な三角形に着目して考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。 三角比の相互関係を調べようとする。 三角比を鋭角から鈍角まで拡張して考察しようとする。

	理解している。 ・3辺が与えられた三角形の面積を求めることができる。		
5章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> 度数分布表、ヒストグラムについて理解している。 平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 範囲や四分位範囲の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。また、データの散らばりを比較することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切でないことを理解している。 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。
1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、知識・技能を重視して総合的に判断し決定します。			

3. 学習の計画と評価の観点

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点			考查範囲
				知・技	思・判・表	主	
1 学期	4	1章 数と式 1節 式の計算	一つの文字に着目したり、置き換えたりするなどして、いろいろな式の見方ができる。 数を拡張する意義や過程を理解する。	○		○	中間 考查
	5	2節 実数	分母の有理化の意味を理解し、簡単な無理数についての四則演算ができる。	○	○	○	
	6	3節 1次不等式	1次不等式とその解の意味について理解し、解を求めるための基礎的な知識を身につける。	○	○	○	期末 考查
	7	3章 2次関数 1節 2次関数とグラフ	2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフを $y=ax^2$ のグラフをもとにしてかくことができる。 2次関数の式やグラフを用いて、2次関数の最大値・最小値を求めることができる	○	○	○	
8							
2 学期	9	2節 2次関数の値の変化	2次方程式とその解の意味について理解し、解を求めるための基礎的な知識を身につける。	○	○	○	
	10	3節 2次方程式と2次不等式	2次不等式の解の意味や2次関数のグラフとの関係を理解し、2次不等式を解くための基礎的な知識を身につける。	○	○	○	期末 考查
	11						

3 学 期	1 2	2章 集合と命題 5章 データの分析	集合の包含関係、共通部分と和集合、空集合、補集合、ド・モルガンの法則を理解する。 データの特徴や、分布を表す方法を身につける。	○	○		学 年 末 考 査
	1	4章 図形と計量 1節 三角比	鈍角まで拡張した三角比の意義や三角比の表の意味と使い方を理解する。 ($0^\circ \sim 360^\circ$ の三角比もここで扱う) 三角比の相互関係に関心を持ち、図や表を用いて考察し、理解し、基礎的な知識を身につける。	○		○	
	2	2節 三角形への応用	正弦定理・余弦定理の内容を理解し、正弦定理・余弦定理と三角形の決定条件との関連についても考察する。 三角形の決定条件が与えられたときの三角形の残りの要素を求めることができる。	○	○	○	
	3		正弦定理、余弦定理を空間図形の計量に応用できる。 正四面体の体積の求め方を理解している。				

科学と人間生活

教 科	理科	単位数	3	学科・学年	1年 全科
使用教科書	科学と人間生活（啓林館）				
副教材等	サンダイヤル科学と人間生活（啓林館）				

「科学と人間生活」の到達目標は

- (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

1. 評価の観点の趣旨と方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の 観点の 趣旨	<ul style="list-style-type: none"> • 遺伝子のはたらき、視覚、血糖濃度の調節、免疫についての基本的なしくみを理解する。 • 身近な材料であるプラスチックや金属の種類、性質及び用途と資源の再利用について理解する。 • 光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解する。 • 身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、地域の地質や地形、気候などの特性や地球内部のエネルギーによる変動と関連づけて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解し、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて科学的に考察し表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術と人間生活とのかかわりについての学習を踏まえて、課題を設定し探究することで、これからの科学と人間生活とのかかわり方について認識を深めようとする。
評価の 方法	<ul style="list-style-type: none"> • 年5回の定期考査 • 実験レポート 	<ul style="list-style-type: none"> • 年5回の定期考査 • 発表内容 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業ノートのまとめ方 • 授業態度、質疑応答 • 発表の取り組み方

2. 評価の規準（及び年間の評定）

内容のまとめ(単元)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
序章 科学技術の発展	①科学技術の発展と、現代社会での科学技術の役割について理解することができる。	①昔と比較して豊かな生活を送ることができるようになったことに対する、科学技術の役割について考えることができる。	①現代社会において、科学技術の発展が生活を便利で豊かにしてきた様子と、その役割を調べようとする。
第1部 生命の科学 第1章 ヒトの生命現象	①ヒトの生命現象にタンパク質が関与していることや、タンパク質が遺伝子の情報をもとにつくられる過程について理解することができる。 ②ヒトの眼の構造や視覚のしくみ、概日リズムや体内時計について理解することができる。 ③ホルモンによる血糖濃度の調節のしくみと、糖尿病について理解することができる。 ④抗体による免疫のしくみと、ワクチン、アレルギーについて理解することができる。	①ヒトの生命現象、タンパク質とDNAを関連づけて考えることができる。 ②眼の構造と視覚の性質について、実験や実体験をもとに考えることができる。 ③血糖濃度とインスリン濃度のグラフを解釈し、それらと糖尿病の関係を科学的に考察することができる。 ④ワクチンの種類について調べ、比較し、表現することができる。 ⑤免疫のしくみとワクチン、アレルギーを関連づけて考えることができる。	①体をつくるタンパク質など、身近なタンパク質について調べようとする。 ②ヒトの視覚の性質や錯視の例などについて調べようとする。 ③光が体内時計やヒトの行動に与える影響について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 ④血糖とヒトの健康の関係や、生活習慣と糖尿病の関係について調べようとする。
第2部 物質の科学 第1章 材料とその利用	①プラスチックの種類と性質について理解することができる。 ②未知のプラスチックの種類を決定する実験を通して、結果を分析して解釈し、プラスチックの種類を決定する方法がわかる。 ③金属の種類と用途、性質、製造法について理解することができる。 ④セラミックスの種類と特徴について理解することができる。 ⑤循環型社会と3R、資源の再利用の方法について理解することができる。	①プラスチックの種類と製品について調べ、分類し、表現することができる。 ②身のまわりの金属の利用と種類、その製造法について考えることができる。 ③セラミックスの種類と用途について考えることができる。 ④資源の有限性と再利用の重要性について考えることができる。	①プラスチックの種類、性質および用途、特殊な機能をもったプラスチックについて調べようとする。 ②さまざまな金属が、どのような特徴をもち、生活に利用されているか調べようとする。 ③身のまわりの金属の性質やその利用について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 ④資源の再利用について身近な例を調べようとする。 ⑤資源の再利用について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。

<p>第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用</p>	<p>①光の直進や反射，屈折についてわかる。 ②光の屈折を的確に記録し，屈折率を求めることができる。 ③波の性質や光のスペクトル，回折や干渉のような現象の原理について理解することができる。 ④電磁波の波長による分類と，それぞれの利用について理解することができる。</p>	<p>①光の性質と，レンズのしくみや眼の構造を関連づけて考え，説明することができる。 ②光の性質と色のしくみを，光の波長と関連づけて考えることができる。 ③電磁波の種類と性質を，その利用例と関連づけて考えることができる。</p>	<p>①光の性質がどのように利用されているか調べようとする。 ②光の波としての性質や光の色が，どのような現象として見られるか調べようとする。 ③身のまわりの光の色や性質について振り返って，日常生活や社会に生かそうとする。</p>
<p>第4部 宇宙や地球の科学 第2章 自然景観と自然災害</p>	<p>①太陽エネルギーによって河川の様子が変化し，河川のはたらきによって形成される景観や引き起こされる災害について理解することができる。 ②地殻変動によって景観が変化し，地震などの災害が起こることや，プレートの動きと地震・火山の関係性について理解することができる。 ③火山活動が作り出す景観と火山の噴火，噴出物などによる災害と対策について理解することができる。</p>	<p>①河川のはたらきがつくり出す景観や引き起こす災害を，水の循環や太陽エネルギーと関連づけて考えることができる。 ②地震発生のしくみと，地震によって引き起こされる災害と景観について考えることができる。 ③火山の形と噴火の特徴を，再現実験でさまざまな条件を比較するなどして，関連づけて考えることができる。</p>	<p>①気象災害について身近な例を調べようとする。 ②地殻変動がもたらす影響や災害の様子について，モデル実験を行うなどして調べようとする。 ③地震による災害とその対策について振り返って，日常生活や社会に生かそうとする。 ④火山活動が作り出した景観について，ジオパークなど身近な例を調べようとする。</p>
<p>終章 これからの科学と人間生活</p>	<p>①自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについての学習を踏まえて，これからの科学と人間生活とのかかわり方について認識を深める。</p>	<p>①終章までの学習を受けて，課題を設定し探究することで，これからの科学と人間生活とのかかわり方について科学的に考察し，発表することができる。</p>	<p>①学習を通して興味・関心をもったテーマについて，課題研究のテーマ例を活用するなどして，進んで課題研究に取り組もうとする。</p>
<p>1年間の評定は，1学期・2学期・3学期の年間を通じて，知識・技能を重視し総合的に判断して決定します。</p>			

3. 学習の計画と評価の観点

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点			考查範囲
				知・技	思・判・表	主	
1 学期	4	科学技術の発展	科学技術の進歩・発展を，通信・医療・交通技術を例にして理解する。	○	○	○	中間 考查
	5	第1部 生命の科学 第1章 ヒトの生命現象 A タンパク質と遺伝子	・タンパク質と遺伝子の関係について理解する。	○	○		
	6	B ヒトの視覚と光	・光の情報によって視覚が生じ，体内時計に影響を与えることを理解する。	○	○		期末 考查
	7	C 血糖濃度の調節	・ホルモンの作用による血糖濃度の調節について理解する。	○		○	
		D 免疫	・抗体による生体防御について理解する。	○	○		
2 学期	8 9	第2部 物質の科学 第1章 材料とその利用 A プラスチック	・プラスチックの種類と性質について理解する。	○	○		中間 考查
		B 金属	・金属の種類と用途，製造法について理解する。	○	○	○	
		C セラミックス	・セラミックスの種類と原料について理解する。	○		○	
		D 資源の再利用	・資源の再利用を，プラスチック・金属・ガラスを例にして理解する。	○	○	○	
	10	第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 A 光の進み方	・光の進み方，反射，屈折について理解する。	○	○		期末 考查
	11	B 光の波としての性質	・光のもつ波の性質について理解する。	○		○	
	12	C 電磁波とその利用	・電磁波の種類とその利用について理解する。	○			
3 学期	1	第4部 宇宙や地球の科学 第2章 自然景観と自然災害 A 河川のはたらきによる景観と災害	・岩石の風化，河川の作り出す景観や河川による災害を理解する。	○	○		期末 考查
	2	B 地震による景観と災害	・地殻変動が作り出す景観や地震による災害，プレートの動きについて理解する。	○	○	○	
		C 火山の景観と災害	・火山は火山災害を引き起こす反面，温泉などの恩恵があることについて理解する。	○	○		
	3	終章 これからの科学と人間生活	・第1部から第4部で選択した学習内容を踏まえ，生徒の興味・関心等に応じて，自然や科学技術に関連した課題を設定し考察する。	○	○	○	

体 育

教 科	保健体育	単位数	2	学科・学年	全科1年
使用教科書	新高等保健体育（大修館）				
副教材等	新高等保健体育ノート（大修館）				

「 体 育 」の到達目標は

- (1) 各運動種目の特性を理解し、技術や戦術、審判法、競技会、記録会の行い方など、総合的な技能、ルールについて理解を深める。また、運動を科学的・理論的にとらえ、自身の動きや、仲間の動きを分析するための知識を身に着ける。体育理論では、現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、豊かなスポーツライフを実現するための知識や方法を身につける。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解する。また、一人一人の違いや考えを大切にすることなどの意欲を育て、合理的、計画的な解決に向けた思考力、判断力を高め、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康、安全を確保し、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

1. 評価の観点の趣旨と方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域における基本的な技能や攻防の仕方、合理的な動き方を身に着け、記録や技に挑戦することができる。 ・簡易化されたルールから正規のルールへと、段階的に変化させ、各種競技の正規ルールを理解して試合を行うことができる。 ・身体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と、運動の実践や生涯スポーツにつながる概念や法則などの汎用的な知識を習得している。 ・運動に関する領域と体育理論等との関連を理解し、各領域の特性や魅力を理解し、運動やスポーツが持つ価値や意義を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断することができる。 ・他者に言葉や文章、動作などを用いて、自身の考えや思いを表現し、コミュニケーションを図ることができる。 ・自己や仲間の課題に対して、合理的、計画的に解決に向けた話し合いを行い、新たな課題の発見に向けた活動ができる。 ・各運動種目における技能の発揮場面において適切な技術を選択し、実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業の実施にあたり、公正に取り組む、互いに協力する、参画する、自己の責任を果たすことができる。 ・一人ひとりの違いや特徴を理解し、それらを認め合い、高め合っている。 ・意欲的に学習に取り組み、健康安全を確保した運動を実践している。 ・授業の目的、目標に対してそれらを達成しようとしている。 ・周囲と積極的に交流し、課題の解決のための意見交流を行うことができる。 ・準備や片付けに積極的に参加し、集団活動に前向きに取り組んでいる。

<p>評価の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・実技テスト ・スキルテスト ・小テスト ・演技発表会 ・試合 ・競技会 ・記録会 ・授業プリント、ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント、ノート ・話し合い活動 ・グループ活動 ・質問紙 ・演技発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・グループ活動 ・課題調査 ・意見発表 ・学習態度
--------------	---	---	---

2. 評価の規準（及び年間の評定）

内容のまとめり(単元)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>A：体づくり運動 ア：体ほぐしの運動 ◆集団行動、準備体操、柔軟体操、補強運動 ◆スポーツテスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、関節や筋肉の動きに着目し、可動域や力強さを高める運動を行うことができる。 ・能率的で安全な集団としての行動の仕方を実践することができる。 ・スポーツテストを通じて、自身の運動能力、身体の成長、課題を実感し、課題の克服に努力することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題を把握し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断することができる。 ・自己や仲間の考えたことを他者に共有することができる。 ・他者に言葉や文章、動作などを用いて、自身の考えや思いを表現し、伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動のポイントや注意点を理解し、集団での活動に配慮しながら運動に親しもうとしている。 ・準備や片付けなどに積極的に参加している。 ・意欲的に学習に取り組み、健康安全を確保した運動を実践している。
<p>B：器械運動 ◆マット運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な演技技を習得している。 ・様々な組み合わせの中から、自分に適した演技を構成することができる。 ・技と技の繋がりを意識して演技を構成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題を把握し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断することができる。 ・自己の課題を把握し、技の難易度や演技の完成度を高めるための工夫、改善を行う。 ・ICTなどを活用して、技の完成度を確認し、自己の課題を改善するための思考力、判断力を養う。 ・安全に技の練習をするために、協力して技の練習を実施することができる。 ・技の難易度と自身の能力が伴っているか、総合的に判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動のポイントや注意点を理解し、集団の活動に配慮しながら運動に親しもうとしている。 ・準備や片付けなどに積極的に参加している。 ・体育授業の実施にあたり、自己の責任を果たし、一人ひとりの違いを理解し、それらを認め合おうとしている。 ・意欲的に学習に取り組み、健康安全を確保した運動を実践している。 ・個人の能力に合わせた技の習得や演技構成の工夫を行い、主体的に演技の練習に取り組むことができる。

<p>E：球技 ◆サッカー ア：ゴール型</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術や戦術、作戦を理解し、個人やチームの能力の向上を目指している。 ・インフィールドの空間を作り出す動きや、空間を埋める動き方を身に着け、活用することができる。 ・安定したボール操作技術を身に着け、ゲームなどの攻防を楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題を把握し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断することができる。 ・他者に言葉や文章、動作などを用いて、自身の考えや思いを表現し、伝えることができる。 ・自己や仲間の課題に対して、合理的、計画的に解決に向けた話し合いを行い、新たな課題の発見に向けた話し合いを実施することができる。 ・ゲームなどを通して、各運動種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を把握し、その解決に向けた練習の工夫を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動のポイントや注意点を理解し、集団の活動に配慮しながら運動に親しもうとしている。 ・準備や片付けなどに積極的に参加している。 ・体育授業の実施にあたり、自己の責任を果たし、一人ひとりの違いを理解し、それらを認め合おうとしている。 ・意欲的に学習に取り組み、健康安全を確保した運動を実践している。 ・個人やチームの能力に合わせた作戦の設定や協力して相手から得点を奪うための団結力を高めようとしている。
<p>E：球技 ◆バレーボール イ：ネット型</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術や戦術、作戦を理解し、個人やチームの能力の向上を目指している。 ・仲間と連携した、拾う、つなぐ、打つという一連の流れの再現性を高める動きを身に着け、活用することができる。 ・安定したボール操作技術を身に着け、ゲームなどの攻防を楽しむことができる。 ・ゲームの企画や運営、審判を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題を把握し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断することができる。 ・自己や仲間の考えたことを他者に共有することができる。 ・他者に言葉や文章、動作などを用いて、自身の考えや思いを表現し、伝えることができる。 ・自己や仲間の課題に対して、合理的、計画的に解決に向けた話し合いを行い、新たな課題の発見に向けた話し合いを実施することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動のポイントや注意点を理解し、集団の活動に配慮しながら運動に親しもうとしている。 ・準備や片付けなどに積極的に参加している。 ・体育授業の実施にあたり、自己の責任を果たし、一人ひとりの違いを理解し、それらを認め合おうとしている。 ・意欲的に学習に取り組み、健康安全を確保した運動を実践している。 ・個人やチームの能力に合わせた作戦の設定や協力して相手から得点を奪うための団結力を高めようとしている。
<p>E：球技 ◆バドミントン イ：ネット型</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術や戦術、作戦を理解し、個人やチームの能力の向上を目指している。 ・相手のショットに対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題を把握し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動のポイントや注意点を理解し、集団の活動に配慮しながら運動に親しもうとしている。

	<ul style="list-style-type: none"> したショットを打つという一連の流れの再現性を高める動きを身に着け、活用することができる。 安定したボール操作技術を身に着け、ゲームなどの攻防を楽しむことができる。 ゲームの企画や運営、審判を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の考えたことを他者に共有することができる。 他者に言葉や文章、動作などを用いて、自身の考えや思いを表現し、伝えることができる。 自己や仲間の課題に対して、合理的、計画的に解決に向けた話し合いを行い、新たな課題の発見に向けた話し合いを実施することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備や片付けなどに積極的に参加している。 体育授業の実施にあたり、自己の責任を果たし、一人ひとりの違いを理解し、それらを認め合おうとしている。 意欲的に学習に取り組み、健康安全を確保した運動を実践している。 個人やチームの能力に合わせた作戦の設定や協力して相手から得点を奪うための団結力を高めようとしている。
E：球技 ◆バスケットボール ア：ゴール型	<ul style="list-style-type: none"> インフィールドの空間を作り出す動きや、空間を埋める動き方を身に着け、活用することができる。 安定したボール操作技術を身に着け、ゲームなどの攻防を楽しむことができる。 ゲームの企画や運営、審判を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題を把握し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断することができる。 自己や仲間の考えたことを他者に共有することができる。 他者に言葉や文章、動作などを用いて、自身の考えや思いを表現し、伝えることができる。 自己や仲間の課題に対して、合理的、計画的な解決に向けた話し合いを行い、新たな課題の発見に向けた話し合いを実施することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種運動のポイントや注意点を理解し、集団の活動に配慮しながら運動に親しもうとしている。 準備や片付けなどに積極的に参加している。 体育授業の実施にあたり、自己の責任を果たし、一人ひとりの違いを理解し、それらを認め合おうとしている。 意欲的に学習に取り組み、健康安全を確保した運動を実践している。 個人やチームの能力に合わせた作戦の設定や協力して相手から得点を奪うための団結力を高めようとしている。
E：球技 ◆ソフトボール ウ：ベースボール型	<ul style="list-style-type: none"> 身体の軸を安定させたバット操作や捕球場所への最短距離での移動と一連の動きでボールを投げることができる。 打撃や守備の状況に応じた類の回り方ができる。 ゲームの企画や運営、審判を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題を把握し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断することができる。 自己や仲間の考えたことを他者に共有することができる。 他者に言葉や文章、動作などを用いて、自身の考えや思いを表現し、伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種運動のポイントや注意点を理解し、集団の活動に配慮しながら運動に親しもうとしている。 準備や片付けなどに積極的に参加している。 体育授業の実施にあたり、自己の責任を果たし、一人ひとりの違いを理解し、それらを認め合おうとしている。 意欲的に学習に取り組

		<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題に対して、合理的、計画的な解決に向けた話し合いを行い、新たな課題の発見に向けた話し合いを実施することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> み、健康安全を確保した運動を実践している。 個人やチームの能力に合わせた作戦の設定や協力して相手から得点を奪うための団結力を高めようとしている。
<p>H：体育理論 第1章 スポーツの発祥と発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツの発祥と成立 ◆スポーツ文化の発展と現代社会 ◆新体力テストの結果と改善点の把握 ◆オリンピック・パラリンピックと交際社会 ◆スポーツの経済効果とスポーツ産業 ◆スポーツに求められる高潔さ 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツの起源に関する調べ学習を通してスポーツの発祥と成立について理解する。 近代スポーツと国際スポーツの違いやそれらの関わりについて理解する。 オリンピズムとオリンピックムーブメントについてその意義について理解する。 オリンピックの歴史的背景を学び、過去と現在のオリンピック開催の意義について理解する。 東京オリンピックの実施に向けたオリンピックムーブメントの実例や、開催後の国際的変化について理解する。 スポーツが経済に与える影響や経済がスポーツに与える影響について理解する。 経済がどのようにスポーツを支えているのか「する・見る・支える」等様々な視点からその関係性について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツの文化的な一面について学び、今日のスポーツ文化がどのように社会に影響を与えているか、調査や発表をすることができる。 オリンピック、パラリンピックの歴史的背景や社会的背景を理解し、これからのオリンピック、パラリンピックの在り方について意見を交流することができる。 スポーツへの多様な関わり方の仕方について理解し、将来的にどのように健康を保持増進し、運動に親しんでいくか、展望を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に学習に取り組み、体育、スポーツの歴史的背景や社会的背景を理解しようとしている。 意欲的に学習に取り組み、オリンピック、パラリンピックの歴史的背景や社会的背景を理解しようとしている。 新体力テストの結果を受けて自身の課題や今後の目標を立てることができる。 意欲的に学習に取り組み、スポーツの経済的効果やそれを支えるスポーツ産業について理解しようとしている。 「する・見る・支える」等の様々なスポーツへの向き合い方を理解しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ●体育授業に際しては、知識・技能に関する評価観点を重視して評価を行っていく。また、安全配慮に関する姿勢やルール等を守り、他者と共にスポーツを楽しもうとするなどの行動面に関しても評価の対象とする。 ●知識・技能に関しては、年間を通じてスキルテストや各種演技、実演を通して技能の評価を行っていく。知識面に関しては小テストなどを通して評価する。 ●思考・判断・表現に関しては、各単元で他者との交流やチーム単位の活動を通して意見交流などを行い、作戦、戦術、練習方法などを通して評価する。 ●主体的に学習に取り組む態度については、準備や片付け、学習に取り組む様子などを通して、総合的に判断し評価する。 			

3. 学習の計画と評価の観点

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点			調査範囲
				知・技	思・判・表	主	
1 学期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ◆R6年度シラバス ◆R6年度授業計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション。 ・授業の実施方法について確認する。 ・授業実施にあたり、用具や施設の利用方法について確認する。 				○
		A：体づくり運動 <ul style="list-style-type: none"> ◆体づくり運動 ア：体ほぐしの運動 ◆集団行動、準備体操、柔軟体操、補強運動 ◆スポーツテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かす楽しさや心地よさを味わい健康の保持増進や体力の向上を目指した運動を実施する。 ・仲間との活動を通して、交流を深める。 ・関節や筋肉の動きに着目し、可動域や力強さを高める運動を実施する。 ・スポーツテストを通して、自身の運動能力、身体の成長を確認、実感する。 ・能率的で安全な集団としての行動の仕方を身に着ける。 			○	○
	5月	E：球技 <ul style="list-style-type: none"> ◆バレーボール イ：ネット型 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術や戦術、作戦を理解し、個人やチームの能力の向上を目指す。 ・ネット型競技では、仲間と連携した、拾う、つなぐ、打つという一連の流れの再現性を高める動きを身に着ける。 ・安定したボール操作技術を身に着け、ゲームなどの攻防を楽しむ。 ・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を把握し、その解決に向けた練習の工夫を行う。 ・個人やチームの能力に合わせた作戦の設定や協力して相手から得点を奪うための団結力を養う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。 	○	○		○
	6月	E：球技 <ul style="list-style-type: none"> ◆ソフトボール ウ：ベースボール型 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術や戦術、作戦を理解し、個人やチームの能力の向上を目指す。 ・ベースボール型競技では、状況に応じたバット操作と守備、安定したボール操作をしながら攻防を楽しむ。 ・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を把握し、その解決に向けた練習の工夫を行う。 ・個人やチームの能力に合わせた作戦の設定や協力して相手から得点を奪うための団結力を養う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。 	○	○		○
	7月						

2 学 期	8 月	H：体育理論 第1章 スポーツの発祥と発展 ◆スポーツの発祥と成立 ◆スポーツ文化の発展と現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの起源に関する調べ学習を通してスポーツの発祥と成立の歴史について理解する。 ・近代スポーツと国際スポーツの違いやそれらの関わりについて理解する。 ・スポーツの文化的な一面について学び、今日のスポーツ文化がどのように社会に影響を与えているか調査、発表する。 	○	○	○
	9 月	E：球技 ◆サッカー ア：ゴール型	<ul style="list-style-type: none"> ・技術や戦術、作戦を理解し、個人やチームの能力の向上を目指す。 ・ゴール型競技では、インフィールドの空間を作り出す動きや、空間を埋める動き方を身に着ける。 ・ネット型競技では、仲間と連携した、捨う、つなぐ、打つという一連の流れの再現性を高める動きを身に着ける。 ・安定したボール操作技術を身に着け、ゲームなどの攻防を楽しむ。 ・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を把握し、その解決に向けた練習の工夫を行う。 ・個人やチームの能力に合わせた作戦の設定や協力して相手から得点を奪うための団結力を養う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。 	○	○	○
	10 月	<女子> ◆バドミントン イ：ネット型	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を把握し、技の難易度や演技の完成度を高めるための工夫、改善を行う。 ・ICTなどを活用して、技の完成度を確認し、自己の課題を理解、改善するための思考力、判断力を養う。 ・安全に技の練習をするために、協力して技の練習を実施し難易度と能力が伴っているか総合的に判断できるようになる。 ・様々な組み合わせの中から、自分に適した演技を構成することができる。 	○	○	○
	11 月	B：器械運動 ◆マット運動	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を把握し、技の難易度や演技の完成度を高めるための工夫、改善を行う。 ・ICTなどを活用して、技の完成度を確認し、自己の課題を理解、改善するための思考力、判断力を養う。 ・安全に技の練習をするために、協力して技の練習を実施し難易度と能力が伴っているか総合的に判断できるようになる。 ・様々な組み合わせの中から、自分に適した演技を構成することができる。 	○	○	○
3 学 期	12 月	H：体育理論 第1章 スポーツの発祥と発展 ◆新体力テストの結果と改善点の把握 ◆オリンピック・パラリンピックと交際社会	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストの結果をもとに、自分の体力的長所や短所を理解し、短所の改善のための練習方法などについての調べ学習を実施する。 ・オリンピズムとオリンピックムーブメントについてその意義について理解する。 ・オリンピックがどのように変遷しながら現在の形になったのか、歴史的背景を学び、過去と現在のオリンピック開催の意義について理解する。 ・東京オリンピックの実施に向けたオリンピックムーブメントの実例や、開催後の国際的変化について学ぶ。 	○	○	○

	1月	E：球技 ◆バスケットボール ア：ゴール型	<ul style="list-style-type: none"> ・技術や戦術、作戦を理解し、個人やチームの能力の向上を目指す。 ・ゴール型競技では、インフィールドの空間を作り出す動きや、空間を埋める動き方を身に着ける。 ・安定したボール操作技術を身に着け、ゲームなどの攻防を楽しむ。 ・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を把握し、その解決に向けた練習の工夫を行う。 ・個人やチームの能力に合わせた作戦の設定や協力して相手から得点を奪うための団結力を養う。 ・ゲームの企画や運営、審判を行う。 	○	○	○	
	2月 ・ 3月	H：体育理論 第1章 スポーツの発祥と発展 ◆スポーツの経済効果と スポーツ産業 ◆スポーツに求められる高 潔さ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが経済に与える影響や経済がスポーツに与える影響について理解する。 ・経済がどのようにスポーツを支えているのか「する・見る・支える」等様々な視点からその関係性について理解する。 ・スポーツが持つ文化的、国際的な価値や役割について理解し、その高潔性を破壊する可能性のある様々な問題に対して、意見を交流することができるようになる。 	○	○	○	

保 健

教 科	保健体育	単位数	1	学科・学年	全科1年
使用教科書	新高等保健体育（大修館）				
副教材等	新高等保健体育ノート（大修館）				

「 保 健 」の到達目標は

- (1) 健康・安全についての基礎的な事項を理解し、個人生活や社会生活が抱えている身近な健康問題について知識を深める。また、心肺蘇生法などの技術や健康的な食生活など、健康の保持増進に向けた様々な取り組みや対策について理解を深め、実生活に活かす実践力を高める。
- (2) 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する健康課題について理解を深め、グループ討議などを通して様々な対策や解決策に関する意見を交流する。また、日常生活において適切な意志決定、行動選択を行うための思考力、判断力、表現力を養う。
- (3) 健康や安全に関心を持ち、健康で安全な生活を実践するための資質や能力を身に着ける。また意欲的に学習に取り組み、新たな発見や気づきが得られるように前向きに授業に取り組む態度を養う。

1. 評価の観点の趣旨と方法

	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、安全な社会生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。 ・心肺蘇生法及び BLS の実施手順を理解し、実践することができる。 ・保健授業で扱う様々な保健的な技術を理解し、実践することができる。 ・授業内容を理解し、小テストや考査等で成果をあげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する意志決定、行動選択、課題の解決を目指した思考力、判断力を身に着けている。 ・グループ学習などを通して他者と意見を交流し、新しい発見や課題解決のためのコミュニケーション能力を身に着けている。 ・自身の考えを言語表現だけではなく、ICT 機器などを利用して適切に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・授業に前向きに取り組み、課題や授業内容について積極的に学ぶ姿勢がある。 ・現代社会における健康課題について様々な視点から判断し、授業内容と関連付けて学習に取り組むことができる。 ・意見交流で積極的に発言している。 ・応急手当や心肺蘇生法の実施方法について理解し、積極的に実習に臨んでいる。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・ノート確認 ・実技、実演 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・ノート確認 ・グループ学習 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・ノート確認 ・グループ学習 ・総括評価

2. 評価の規準（及び年間の評定）

内容のまとめ(単元)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>第1章 ＜現代社会と健康＞</p> <p>◆ア：健康の考え方 1：日本における健康課題の変遷 2：健康の考え方と成り立ち 3：ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり 4：健康に関する意思決定・行動選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国民の健康課題について、各種の指標や疾病構造の変化を通して理解している。 健康に関わる様々な要因や個人や社会の関わりについて理解している。 ヘルスプロモーションの考え方について理解し、健康の保持増進のための適切な意思決定、行動選択について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともに、それらを表現することができる。 事例を参考に、自他の健康の保持増進のための意思決定、行動選択の方法について意見を交流することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。 授業に前向きに取り組み、課題や授業内容について積極的に学ぶ姿勢がある。 現代社会における健康課題について様々な視点から判断し、授業内容と関連付けて学習に取り組むことができる。 意見交流で積極的に発言している。
<p>第1章 ＜現代社会と健康＞</p> <p>◆イ：現代の感染症とその予防 5：現代における感染症の問題 6：感染症の予防 7：性感染症・エイズとその予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現代の感染症の特徴やその発生原因について理解する。 感染症に対する適切な対策や予防方法について理解している。 予防接種や検疫などの感染症に対する社会的な取り組みについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともに、それらを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。 授業に前向きに取り組み、課題や授業内容について積極的に学ぶ姿勢がある。 現代社会における健康課題について様々な視点から判断し、授業内容と関連付けて学習に取り組むことができる。
<p>第1章 ＜現代社会と健康＞</p> <p>◆ウ：生活習慣病などの予防と回復 8：生活習慣病の予防と回復 9：身体活動・運動と健康 10：食事と健康 11：休養・睡眠と健康 12：がんの予防と回復</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防と回復に向けた個人の取り組みや健康診断、がん検診の普及などの社会的取り組みの大切さについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともに、それらを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。 授業に前向きに取り組み、課題や授業内容について積極的に学ぶ姿勢がある。 現代社会における健康課題について様々な

			<p>視点から判断し、授業内容と関連付けて学習に取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見交流で積極的に発言している。
<p>第1章 〈現代社会と健康〉</p> <p>◆工：喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 13：喫煙と健康 14：飲酒と健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙や飲酒が身体に及ぼす害について理解し、周囲の人々や胎児など様々な視点から物事をとらえる力を身に着けている。 薬物が及ぼす健康影響や社会的な影響について学び、それらを防止するための社会的な取り組みや自分の身体を大切にする気持の大切さについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともに、それらを表現することができる。 喫煙や飲酒、薬物の誘いに対する適切な判断力を身に着けている。 健康被害の防止に向けた対策方法などについて意見を交流できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。 授業に前向きに取り組み、課題や授業内容について積極的に学ぶ姿勢がある。 現代社会における健康課題について様々な視点から判断し、授業内容と関連付けて学習に取り組むことができる。 意見交流で積極的に発言している。
<p>第1章 〈現代社会と健康〉</p> <p>◆才：精神疾患の予防と回復 16：精神疾患の特徴 17：精神疾患への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 近年増えている精神疾患に関する正しい知識を身に着け、様々な治療方法や病気との向き合い方について理解している。 精神疾患の予防と回復には適切な食事や運動、休養、睡眠などの生活習慣が大きく関係していることを理解している。 精神疾患患者の増加の背景には社会環境の変化など様々な要因があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともに、それらを表現することができる。 精神疾患に陥る原因や良好な人間関係、社会環境の整備のために何が必要か意見を交流することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。 授業に前向きに取り組み、課題や授業内容について積極的に学ぶ姿勢がある。 現代社会における健康課題について多角的に判断し、授業内容と関連付けようとするすることができる。 意見交流で積極的に発言している。
<p>第2章 〈安全な社会生活〉</p> <p>◆ア：安全な社会づくり 1：事故の現状と発生要因 2：交通事故防止の取り組み 3：安全な社会の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事故の現状とその発生原因について理解している。 安全な社会の形成のための様々な法的整備や環境整備について理解している。 交通事故の防止のための個人の適切な行動 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。 交通事故の発生原因について、事例を参考に 	<ul style="list-style-type: none"> 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。 授業に前向きに取り組み、課題や授業内容に

	や補償を始めとする法的責任について理解し、自他の生命を尊重するための正しい考え方を身に着けている。	して、グループ活動等で意見交流を行うことができる。	ついて積極的に学ぶ姿勢がある。 <ul style="list-style-type: none"> 現代社会における健康課題について様々な視点から判断し、授業内容と関連付けて学習に取り組むことができる。 グループ活動に積極的に取り組み、意見を交流している。
第2章 <安全な社会生活> ◆イ：応急手当 4：応急手当の意義と救急医療体制 5：心肺蘇生法 6：日常的な応急手当	<ul style="list-style-type: none"> 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応するための救急医療体制などについて理解している。 日常的な応急手当の方法や意義について理解している。 心肺蘇生法の実施手順やAEDの操作方法、胸骨圧迫などの行い方を身に着けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。 様々な状況に応じて適切な応急手当、心肺蘇生法の実施方法について意見を交流し、協力して実習に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。 授業に前向きに取り組む、課題や授業内容について積極的に学ぶ姿勢がある。 意見交流で積極的に発言している。 応急手当や心肺蘇生法の実施方法について理解し、積極的に実習に臨んでいる。
<p>●保健授業に際しては、定期考査を始めとする知識を評価する機会及び心肺蘇生法等の実技、実演等の技能を評価する機会を重視して評価する。また、問題解決型の授業の取り組みの様子について、意見発表の機会や学習プリントへの記載内容についても評価の対象とする。</p> <p>●知識・技能に関しては、年間4回の定期考査と小テスト、応急手当に関する実技などを加味し、総合的に判断し評価する。</p> <p>●思考力・判断力・表現力に関しては、問題や演習、グループ学習などの活動を通して他者とのコミュニケーションを図り、新たな発見や課題解決の方法などの気づきについて、ノートやプリント等の文章表現や発表の様子を加味し、総合的に判断し評価する。</p> <p>●主体的に学習に取り組む態度に関しては、授業中の取り組みの様子や提出物、出席、グループ学習の様子、問題演習の取り組み姿勢などを加味し、総合的に判断し評価する。</p>			

3. 学習の計画と評価の観点

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点			考査範囲
				知・技	思・判・表	主	
1学期	4月	◆保健の授業について (まえがき)	・保健学習の意義と学習の見通しをもたせる。			○	1学期期末
		第1章 <現代社会と健康> ◆1：日本における健康課題の変遷	<ul style="list-style-type: none"> 健康指標や疾病構造の変化から日本の健康課題について把握し、時代や流行による様々な影響について理解する。 健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が大きくかかわっていることを理解する。 	○	○	○	

1 学期 末	5 月	第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆2：健康の考え方と成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関して様々な考え方があり、それらが時代によってどのように移り変わってきたのか理解する。 健康の成立のためには様々な要因が大きく関連していることを理解する。 	○		○	
		第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆3：ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。 健康を保持増進するための環境づくりについて理解を深める。 	○	○	○	
		第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆4：健康に関する意思決定・行動選択	<ul style="list-style-type: none"> 健康を保持増進するために、適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解する。 意思決定・行動選択には様々な要因が影響を与えており、人間の場合には心理的要因が大きく行動に変化を与えていることを理解する。 	○		○	
	6 月	第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆5：現代における感染症の問題	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の発生や流行には、自然環境や社会環境が影響を及ぼすことを理解する。 新興感染症の発生原因と流行の背景や、再興感染症の発生や流行の現状について正しく理解する。 	○		○	
		第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆6：感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響を及ぼすことを学び、新興感染症の発生の原因と流行の背景や、再興感染症の発生や流行の現状について正しく理解する。 	○		○	
		第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆7：性感染症・エイズとその予防	<ul style="list-style-type: none"> 性感染症の現状と今後の課題について学び、エイズやその他の性感染症の罹患防止の方法や社会的な対策について理解を深める。 	○		○	
		◇定期考査（1学期期末考査）	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返り、知識の定着を確認する。 	○	○		
	2 学期	7 ・ 8 月	第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆8：生活習慣病の予防と回復	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病のリスク軽減や予防のために必要な個人の取り組みについて理解する。 生活習慣病の予防や回復に必要な社会の取り組みについて理解する。 	○		○
			第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆9：身体活動・運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> 身体活動、運動と健康の関係について理解する。 身体活動、運動の継続的な実践に必要な取り組みについて身体活動の強度（メッツ）と関連させて理解する。 	○		○
			第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆10：食事と健康	<ul style="list-style-type: none"> 食事と健康の関係について栄養素の役割や食生活指針と関連させて理解を深める。 健康的な食生活の実践に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 	○	○	○
9 月		第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆11：休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> 休養・睡眠と健康の関係について日々の生活と関連させた健康影響などを題材に理解を深める。 適切な休養・睡眠の確保に必要な個人及び社会の取り組みについて、調べ学習などを用いて理解を深める。 	○		○	
		第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆12：がんの予防と回復	<ul style="list-style-type: none"> がんには様々な種類があることやがんの発生原因と危険性について理解する。 がんの予防や回復に向けた最新の治療法や予防法について理解を深め、将来に活かすことができる知識を身に着ける。 	○		○	
						2 学期 中間	

		◇定期考査（2学期中間考査）	・これまでの学習を振り返り、知識の定着を確認する。	○	○		
10月	第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆13：喫煙と健康		・喫煙による健康影響について、煙草に含まれる有害物質やそれらの影響について正しく理解する。 ・喫煙による健康被害の防止や社会環境保持のための取り組みについて理解を深める。	○		○	2学期期末
	第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆14：飲酒と健康		・飲酒による健康影響について、過剰な飲酒行為による健康被害の実例を用いて理解を深める。 ・飲酒による健康被害の防止に向けた社会的な取り組みについて理解する。	○		○	
11月	第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆15：薬物乱用と健康		・薬物乱用による健康被害及び社会への影響について、事例を含めながら理解を深める。 ・薬物乱用の防止に向けた取り組みや様々な法律について理解を深める。	○	○	○	2学期期末
	第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆16：精神疾患の特徴		・様々な精神疾患の特徴や症状について理解する。 ・精神疾患の発症原因や回復に向けた様々な方法、対策などを理解する。	○		○	
12月	第1章 ＜現代社会と健康＞ ◆17：精神疾患への対応		・精神疾患の予防や早期発見、早期治療、適切な支援の方法について理解する。 ・心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。	○	○	○	2学期期末
	◇定期考査（2学期期末考査）		・これまでの学習を振り返り、知識の定着を確認する。	○	○		
3学期	1月	第2章 ＜安全な社会生活＞ ◆1：事故の現状と発生要因	・様々な場面や状況下で起こる事故とその被害の実態について理解する。 ・事故の発生には、人的要因と環境要因が関連していることを理解する。	○		○	学年末考査
		第2章 ＜安全な社会生活＞ ◆2：交通事故防止の取り組み	・交通事故防止には、個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解する。 ・交通事故には補償などの法的責任が生じることを理解する。	○		○	
	第2章 ＜安全な社会生活＞ ◆3：安全な社会の形成	・安全な社会の実現のために必要な個人の取り組みや、必要な環境整備について理解する。	○	○	○		
	第2章 ＜安全な社会生活＞ ◆4：応急手当の意義と救急医療体制	・応急手当の意義を理解し、推奨される実施手順や方法を身に付け、実践できる技能を身に付ける。 ・救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用方法について理解する。	○		○		
	2・3月	第2章 ＜安全な社会生活＞ ◆5：心肺蘇生法	・心肺蘇生法の意義や方法、手順、注意点について正しく理解し、実践できる技能を身に付ける。	○	○	○	
	第2章 ＜安全な社会生活＞ ◆6：日常的な応急手当	・日常生活で起こる様々な疾病や傷害に対する、適切な応急手当の方法について理解し、実践できる技能を身に付ける ・熱中症の予防及び基本的な応急手当の方法を理解し、実践できるようになる。	○	○	○		
		◇定期考査（学年末考査）	・これまでの学習を振り返り、知識の定着を確認する。	○	○		

美術 I

教 科	芸 術	単位数	2	学科・学年	全学科・1年
使用教科書	高校生の美術 1				
副教材等	スケッチブック・資料プリント・タブレット等				

「美術 I」の到達目標は

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

1. 評価の観点の趣旨と方法

	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容 ・授業中の発言 ・授業中の行動 ・ワークシートの内容 ・レポートの記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容 ・授業中の発言 ・授業中の行動 ・ワークシートの内容 ・レポートの記述 ・作品発表の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備・片付けの状況 ・授業中の発言 ・授業中の行動 ・レポートの記述 ・課題の提出状況

2. 評価の規準（及び年間の評定）

内容のまとめり(単元)	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現「絵画」 「身近なものを描く」 モノを持つ自分の手を描こう	<ul style="list-style-type: none"> • 手の造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風、様式などでとらえることを理解している。 • 光や影を意識し、意図に応じて用具の使用法や表現方法を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な角度から対象をみつめ、見つけたことや感じ取ったこと、考えたことを基に主題を生成し、創造的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 対象に真摯に向き合い、対話しながら主体的に制作に取り組もうとしている。
表現「デザイン」 「サインのデザイン」 自分のロゴを創ろう	<ul style="list-style-type: none"> • 生活の中のロゴの役割と目的、コンセプトを表す形と色の造形的特徴を理解し、自分をイメージアップするロゴを制作するための知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分を見つめなおし、自分を的確に表現する形体や、色、構成について考え、創意工夫し表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 既存のロゴを調査し、主体的に構想を練りながら創造的な表現に向けて取り組もうとしている。
表現「絵画」 「版で表す」 シルクスクリーン版画でロゴを印刷しよう	<ul style="list-style-type: none"> • 孔版画の特徴を理解し、ロゴの形態と色を基に用具や用法を創意工夫して、製版、印刷する知識と技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 形態、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 版画表現の種類や特徴に関心をもち、主体的に印刷の工程を進められるように取り組もうとしている。
鑑賞「映像メディア表現」 「岩井俊雄の世界」 DVD 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> • 映像メディア表現の特質や表現効果の手法、知識を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 主体的に鑑賞し、様々な芸術の表現方法の存在を知り、映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取ろうとしている。
表現「絵画・彫刻」 「抽象彫刻で表す」 モビールを創ろう	<ul style="list-style-type: none"> • モビールの特徴を理解し、全体の構成や、様式でとらえることを理解している。 • 回転によるパーツの動きや変化を理解し創造的に表している。 • 紙の特徴を理解し、創意工夫して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の経験や興味を基に主題を生成し、モビールの特徴を理解し各パーツや全体の構成などを工夫して表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • モビールのよさを感じ取り、資料を活用して試行錯誤しながら主体的に制作に取り組もうとしている。

表現「デザイン」 「暮らしの中の使うデザイン」 ペーパーナイフを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> • 美しさと機能それぞれについて目的を達成するための知識と技能を身に着け、材料の特性を理解し、道具の使い方を工夫して創造的に表現している。 • 生活の中にある使うためのデザインについて考え、ユニバーサルデザインについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 美しさと機能性を兼ね備えたペーパーナイフのユニバーサルデザインを考え、表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 試作を繰り返し、美しさや機能性の実現に向け主体的に取り組みもうとしている。 • 道具の使い方に注意しながら安全な作業を行おうとしている。
---	---	---	---

1年間の評価は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、提出作品と授業の取り組み態度を基に、知識・技能及び思考・判断・表現などを考慮したうえで、総合的に判断して決定します。

3. 学習の計画と評価の観点

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点			考查範囲
				知・技	思・判・表	主	
1学期	4	表現「絵画」 「身近なものを描く」 ○モノを持つ自分の手を描く	<ul style="list-style-type: none"> • 身近なものの特徴や美しさなどをとらえて表すことが美術の基本であることを理解し、主体的に取り組む。 • よく観て、知り、描き表すことが、対象を理解することになることを理解する。 • 手の形や構造、明暗や質感などの効果、全体のイメージを捉え、描画材料の違いによる作風の変化と、その特性を活かした表現を創意工夫している。 	○		○	
	5			○	○	○	
1学期	6	表現「デザイン」 「サインのデザイン」 ○自分のロゴを創ろう	<ul style="list-style-type: none"> • 既存のロゴを調査し、目的と形、色について考察を深め、ロゴの役割と特徴、生活とのかかわりを理解する。 • 自分を客観的に見つめなおし、自分らしさの表現方法について考える。 • 色の特性を知り、ロゴに使用する色と配色について理解する。 	○		○	
				○	○	○	
2学期	7	表現「絵画」 「版で表す」 ○シルクスクリーン版画によるロゴ印刷	<ul style="list-style-type: none"> • 印刷の工程を通して孔版画を代表するシルクスクリーン版画の特徴と多版多色印刷の原理を理解する。 • 仲間と協力して印刷を行い、他者の作品から創造性や技術を学ぶ。 • 作品を発表し、自分の考え、コンセプトを再確認するとともに仲間の発表を聞くことで作品創作のヒントを学ぶ。 	○		○	
	8			○	○	○	

	9	鑑賞「映像メディア表現」 ○「岩井俊雄の世界」鑑賞 表現「絵画」 「アニメーションの手法」 ○パラパラ漫画制作	<ul style="list-style-type: none"> ・岩井俊雄の制作現場のDVDを視聴し、生活と美術の関わり、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えるとともに表現の多様性について理解する。 ・パラパラ漫画を発展させたものがアニメーションであり、映像メディア表現につながることを理解する ・コマ数により、動作に変化が生じることを理解する。 	○	○	○
	10	表現「絵画・彫刻」 「抽象彫刻で表す」 ○モビールを創る	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験や興味を基に主題を生成し、キネティックアートとしてのモビールの特徴を理解しながら、パーツの形や色彩などの造形要素とともに全体の構成を考え創造的に構想を練る。 ・紙の特性を理解し、道具の使い方や加工方法を工夫して美しく制作する。 	○	○	○
	11			○		○
	12					
3 学 期	1 2 3	表現「デザイン」 「暮らしの中の使うデザイン」 ○ペーパーナイフの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるユニバーサルデザインの機能性を理解し、デザインの基本を理解する。 ・主題となるモチーフの形からナイフの形へ変換していく段階で機能と美しさを両立させるために創造的にデザインの構想を練る。 ・板材から加工し、作品になるまでの工程を学ぶ。 ・木の特性と加工法を理解し、道具の使い方を工夫すると共に、安全な作業を行う。 	○	○	○
				○	○	○

英語コミュニケーションⅠ

教科	外国語（英語）	単位数	3	学科・学年	全科1年生
使用教科書	「All Aboard! English Communication I」(C I 701)				
副教材等	「All Aboard! English Communication I プリッジワークブック」(東京書籍) / 英単語VALUE1000 (数研出版)				

「英語コミュニケーションⅠ」の到達目標は

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

- (1) 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- (2) 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- (3) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- (4) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
- (5) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

1. 評価の観点の趣旨と方法

	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	<ol style="list-style-type: none"> ① 日常的・社会的な話題について聞き取ったり、読み取ったりするため、また相手に伝えるための語句・文法を理解している。 ② 日常的・社会的な話題について聞き取ったり読み取ったりすることができる。 ③ 日常的・社会的な話題について情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝えることができる。 ④ 日常的・社会的な話題について、話して伝え合うことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自分の考えを発表するため、手紙に書くため、また、相手と意見交換するために日常的・社会的な話題について話し手・書き手の意図を把握している。 ② 自分の考えを発表するため、手紙に書くため、また、相手と意見交換するために日常的・社会的な話題について話したり、書いたりして伝えている。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自分の考えを発表するため、手紙に書くため、また、相手と意見交換するために日常的・社会的な話題について話し手・書き手の意図を把握しようとしている。 ② 自分の考えを発表するため、手紙に書くため、また、相手と意見交換するために日常的・社会的な話題について話したり、書いたりして伝えようとしている。
評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業中の音読・言語活動への取り組み状況を観察する。 ② 本文の内容について読んだり、聞いたりしたことの理解度を量る定期考査や小テストを実施する。 ③ 語句や文法事項及び表現の理解度を量る筆記および口頭によるテストを実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業中の音読・言語活動を教員または生徒同士が評価する。 ② 本文の内容について理解しているか、また、自分の考えを英語で表現できるかを量る定期考査や口頭テストを実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業中の音読・言語活動を教員または生徒同士が評価する。 ② 課題の内容や提出状況を評価する。

2. 評価の規準（及び年間の評定）

内容のまとめ(単元)	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>Warm-Up 1~3 アルファベット 教室で使う表現 辞書の使い方／疑問詞</p>	<p>[知識]アルファベット・疑問詞・辞書の使い方について、理解している。クラスルームイングリッシュについて使用場面や使い方を理解している。 [技能]アルファベットを正しく書くことができる。クラスルームイングリッシュを適切に使うことができる。辞書を適切に使うことができる。</p>	<p>教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使っている。</p>	<p>教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使おうとしている。</p>
<p>Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! オレはジャンクフードが好きだ！ Communication 1 自己紹介 英文のしくみ 1</p>	<p>[知識] be 動詞・一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。自己紹介の仕方を理解している。 [技能] 自分の名前・性格・特徴・日常の行動や食べ物の好みなどを、be 動詞・一般動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。ここまで学習したことをもとに、自己紹介というテーマでメモを作成し、相手とコミュニケーションできる。</p>	<p>自分の名前・性格・特徴など、また、自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。効果的な自己紹介ができるように、選んだテーマに沿って自分の情報を整理して、相手が理解しやすいように伝えている。</p>	<p>自分の名前・性格・特徴など、また、自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。効果的な自己紹介ができるように、選んだテーマに沿って自分の情報を整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。</p>
<p>Lesson 1 Breakfast around the World 私の朝ごはん Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物 文法のまとめ 1</p>	<p>[知識]動詞の過去形・進行形〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 [技能] 学んだ事柄を用いて、好きな物について、考えや好み、その理由を話して伝える技能を身につけている。また、過去にしたことについて動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合っている。</p>	<p>聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>

<p>Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 笑顔を運ぶ列車 Communication 2 道案内 Let's Listen 1 デートの約束 Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景 英文 Eメールの書き方 Extra Target 1 人物当てクイズ</p>	<p>[知識] 助動詞 can・will・to 不定詞〈to+動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 道案内や相手を何かに誘う文の形や用法について理解している。 [技能] ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、助動詞 can・will を用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につけている。 やりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to 不定詞〈to+動詞の原形〉を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないこと・行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合っている。 道案内や相手を何かに誘うための情報を整理し相手にわかりやすく伝えている。</p>	<p>聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないこと・行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。 道案内や相手を何かに誘うための情報を整理し相手にわかりやすく伝えようとしている。</p>
<p>Lesson 5 Learning from the Sea 長浜高校水族館部 Let's Listen 2 フリーマーケットで買い物 英文のしくみ 2 文法のまとめ 2 Reading Short Stories in English Extra Target 2 ○○が…するのを見た Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師</p>	<p>[知識] 動名詞〈動詞の-ing 形〉・受け身〈be 動詞+過去分詞〉・知覚動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 商品の値段や形状を説明する文の形・意味を理解している。 [技能] 将来の夢や芸術について、動名詞〈動詞の-ing 形〉・受け身〈be 動詞+過去分詞〉・知覚動詞を用いて、考えや気持ち・情報などを話して伝え合う技能を身につけている。 商品の値段や形状を説明する文を聞いて、それらの要素を正しく判断できる技能を身につけている。</p>	<p>書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、また、自分が好きなものとその理由などについて相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報、提案などを話したり書いたりして伝え合っている。 最近見たり聞いたりしたことについて、「知覚動詞」を用いて適切に伝えていく。 商品の値段や形状についての説明を聞く状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理することができる。</p>	<p>書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、また、自分が好きなものとその理由などについて相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報、提案などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。 最近見たり聞いたりしたことについて、「知覚動詞」を用いて適切に伝えようとしている。 商品の値段や形状についての説明を聞く状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理しようとしている。</p>
<p>Lesson 7 A Diary of Hope アンネ・フランク Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ Communication 3</p>	<p>[知識] 比較表現〈-er〉〈the -est〉、〈as+原級+as〉・現在完了形〈have[has]+過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	<p>書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、関心のある人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ち</p>	<p>書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、関心のある人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ち</p>

<p>乗り換え案内 英文のしくみ 3 文法のまとめ 3</p>	<p>電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら説明する仕方を理解している。 [技能] 歴史上の人物や自分が調べたことについて、比較表現〈-er〉〈the -est〉、〈as+原級+as〉・現在完了形〈have[has]+過去分詞〉を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身につけている。 電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら説明できる技能を身につけている。</p>	<p>を話したり書いたりして伝え合っている。 自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしている。 電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしている。</p>	<p>を話したり書いたりして伝え合おうとしている。 自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしようとしている。 電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしようとしている。</p>
<p>Lesson 9 Fighting Plastic Pollution 海の豊かさを守る Lesson 10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物 Reading 2 The Wizard of Oz オズの魔法使い Extra Target 3 もし私が○○なら... 文法のまとめ 4</p>	<p>[知識] 「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文、関係代名詞 who、which を用いた文、仮定法過去〈If+過去形の文、I would ...〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] プラスチックごみによる環境汚染の問題・第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助について自分で調べた事柄を用いて、自分たちにできることを伝え合う技能を身につけている。 もし私が○○なら...」と想像して、しようと思うこと・できることについて、「仮定法過去」を用いて相手と対話をする事ができる技能を身につけている。</p>	<p>書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題や海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 「もし私が○○なら...」と想像して、しようと思うこと・できることについて、「仮定法過去」を用いて相手と対話をしている。</p>	<p>書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題や海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。 「もし私が○○なら...」と想像して、しようと思うこと・できることについて、「仮定法過去」を用いて相手と対話をしようとしている。</p>
<p>1年間の評価は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、思考・判断・表現を重視し総合的に判断して決定します。</p>			

3. 学習の計画と評価の観点

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点			考查範囲
				知・技	思・判・表	主	
1 学期	4	Warm-Up 1~3 Pre-Lesson 1 Pre-Lesson 2 Communication 英文のしくみ	英語を学ぶための基礎的な技術を身につける。 英語についての基本的な文法・語彙知識を身につける。 それらを使って自己表現することができる。	○	○	○	中間考查
	5	Lesson 1 Lesson 2 文法のまとめ	過去形を使って、過去に起こったことについて表現することができる。 聞いたり読んだりしたことを活用して好きな食べ物や自分の考えについて、相手とやり取りすることができる。	○	○	○	
	6	Lesson 3 Communication Let's Listen	助動詞を使って、可能性・将来・義務について、表現することができる。 道案内や相手を誘う表現を身につける。	○	○	○	期末考查
	7	Lesson 4 英文Eメールの書き方	不定詞の用法について理解することができる。 やりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて発表することができる。	○	○	○	中間考查
2 学期	8	Extra Target	クイズ形式で、紹介した人物の情報を英語で表現することができる。	○	○	○	中間考查
	9	Lesson 5 Let's Listen 2 英文のしくみ 文法のまとめ Reading	動名詞の用法について理解することができる。 自分の将来について英語で伝えることができる。 買い物をするのに必要な表現を習得することができる。	○	○	○	
	10	Extra Target Lesson 6	受け身・知覚動詞の用法について理解することができる。 最近見たり聞いたりしたことを表現することができる。 自分の好きな絵について理由も合わせて伝えることができる。	○	○	○	期末考查
	11	Lesson 7	比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as+原級+as〉を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。 関心のある人物について、英語で説明することができる。	○	○	○	
3 学期	12	Lesson 8 Communication 英文のしくみ 文法のまとめ3	現在完了形〈have[has]+過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。 自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりすることができる。 電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で尋ねたり案内したりすることができる。	○	○	○	学年末考查
	1	Lesson 9	「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解することができる。 プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合うことができる。	○	○	○	

2	Lesson 10	<p>関係代名詞who、 whichを用いた文の形・意味・用法を理解することができる。</p> <p>海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝えあうことができる。</p>	○	○	○
3	Reading 2 Extra Target 文法のまとめ	<p>物語の内容を理解し、登場人物の気持ちを考えながら音読することができる。</p> <p>仮定法過去〈If＋過去形の文, I would ...〉を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。</p> <p>「もし私が○○なら...」と想像して、しようと思うこと・できることについて、「仮定法過去」を用いて相手と対話することができる。</p>	○	○	○